

本時のねらい

- ・地域に見られる仕事の様子について、生活との関連を踏まえて理解するとともに、資料を通して、必要な情報を調べとめる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・iPad を活用し、オンライン通話で地域の人と関わりを持つ。
- ・iPad にまとめる作業を通して、画像の添付・文字の打ち方など基本的な PC・タブレットの使い方を定着させ、より分かりやすい発表資料を作成する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad
- ・AppleTV
- ・電子黒板
- ・プレゼンテーションアプリ (Keynote)
- ・通話アプリ (Zoom)
- ・タイマー
- ・Google ドライブ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を確認する。 「Keynote を使ってお店のくふうをまとめよう！」 ○まとめる時のポイント(見やすく・箇条書き・感想)を確認し、見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に iPad のミラーリング機能を使い、iPad の画面を電子黒板に提示して確認する。 ・教員がモデルを提示し、学習の見通しを持たせる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○全員で「ケーキ屋さん プレール (店名)」を担当する班のオンライン通話を視聴する。 ・担当の班は「プレール」に質問をし、聞いたこと・気づいたことなどを中心にメモをとる。 ・担当以外の班は、自分の店との違い・共通点をメモして比べる。 ○Keynote にお店の工夫をまとめる。 ・班で協力しながら、個人で発表資料を作成する。 ・話を聞いたこと・説明のまとめを書く。 「写真を見ると、見やすい陳列で季節の物が並んでるよ。」 ○他の班と交流をする。 ・自分と他の班とを比べ、違いを明らかにし、作成に活かす。 「マルナカは○○だったけど、業務スーパーは○○でした。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の観点を示し、発表するために箇条書きでメモを取らせる。 ・箇条書きのメモを基に、Keynote にまとめさせる。 ・Google ドライブから各店舗の写真を取り出せるようにしておく。 ・Keynote の活用を通して画像の添付、文字の入力など基本的な操作の仕方を定着させる。 ・隙間時間に他の班との交流を促し、発表資料の質の向上を目指す。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○次の時間の見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板のタイマー機能を用いて視覚的に時間の経過がわかるようにする。ベルの音で活動の終わりを明確にする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : オンライン通信をしてインタビューする場面



写真 2 : Keynote にまとめる場面



写真 3 : 電子黒板に教員からのモデルを提示し、まとめるポイントを説明する場面

児童生徒の反応や変容

- ・教室にいながら、地域の方々とつながることができたので、オンライン上で全員がお店の人の話を真剣に聞き、質問をする姿が見られた。
- ・Google ドライブから必要な資料を選び、Keynote にまとめることで、必要な情報だけを選ぶ力が身に着いてきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・コロナ禍において、オンライン通信は、地域との関わりを深める重要なツールである。これまで、大型スーパーなどの見学をしてきたが、オンライン通信を活用することで、地域に関係の深い個人店にも、人数を制限せずにお話を聞くことができる。
- ・Keynote や Google ドライブを使った情報共有や発表を系統的に指導できれば、より質の高いプレゼンテーションができると感じた。